

「胃癌根治切除後遠隔期における術後障害の実態」へのご協力をお願い

■ 研究の対象

2000年1月1日～2015年3月31日まで当院で根治的胃切除術の手術を受けた方

■ 研究の目的・方法

・胃癌術後のフォローは、一般的には5年間とされています。したがって、これ以後の遠隔期における術後障害に関する報告、特に腸閉塞、胆道結石、残胃癌を含めた2次癌の発生頻度、さらには死亡につながる諸疾患の発生など不明な点が多いと言われています。本研究ではこれら諸事項の発生状況を明らかにすることを目的として、さらにはその発生状況を周術期の臨床的諸因子で予測可能となれば、より意義あるものと考えます。

・研究実施期間：2020年3月26日～2023年3月31日

■ 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、血液生化学的検査所見、Body mass index、アメリカ麻酔学会術前身体分類、Charlson 併存疾患指数、胃癌 stage、術式、出血量、手術時間、周術期輸血の有無、Clavien-Dindo 分類による術後合併症、術後補助化学療法、術後6ヶ月および1年の血液生化学検査所見等

■ お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記のご連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。また、試料・情報が当該研究について、患者様もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象者といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることは一切ありません。

亀田総合病院科 消化器外科 草薙 洋 電話：04-7092-2211(代)